

- 国内でLCを推進する研究者集団
- KEK全体
- 国内の広い学術コミュニティ
- マスコミ、一般社会
- 文科省
- 日本の政治家
- 海外でLCを推進する研究者集団
- 海外のHE研究者、研究機関
- 海外のFA
- 外国政府

『文科省から青信号が出た場合のアクションプラン』 WGの設置

- 青信号の定義＝文科省から「ILCの実施を前提に諸外国との交渉を始める」という正式な発表があること
- 青信号を待たずに実際にKEKの組織を改編することはしない。
- 青信号が出た場合にどういう時間スケールでどのようにKEKの組織を改編し、実施組織を立ち上げてゆくのか、時間軸を含んだアクションプランを示してください。→WGのミッション:2015年8月一杯をめど
 - 当面はKEKが国内の拠点の役割を果たすが、国際機関への移行も念頭に置いたプランが必要
 - 相当額の予算、人員の手当てが認められると仮定
 - KEKの現行の研究計画を中途半端に終わらせることはしない。
 - アクションの内容は加速器の詳細設計だけでなく、最終決定に向けてどのように文科省を手伝うか、に至るまで多岐にわたる。KEKだけでなく、大学、国外の研究者でどのように分担するか。特にLCCとの連携、役割分担は重要。
- 現実味のあるアクションプランを示して機構内の合意形成を図る。また、これはSCJの問題提起に応えることであり、人材確保作業部会への入力としても有用